News Release

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

平成２２年１月２０日

東京都における火災事故（軽傷２名）について

１月１日（金）に東京都の一般集合住宅において、ガスファンヒーターとゴム管が正しい接続具で接続されていなかったことにより、使用中に接続部からガスが漏れ、これに当該機器の火が着火したことによると思われる火災事故（軽傷２名）が発生した旨の報告がありました。

１．事故の概要

１月１日（金）午前０時１５分頃、東京都の一般集合住宅において、ガスファンヒーターとゴム管が正しい接続具で接続されていなかったことにより、使用中に接続部付近からガスが漏れ、これに当該機器の火が着火したことによると思われる火災（軽傷２名）が発生した旨、ガス事業法第４６条に基づき、１９日（火）午後４時頃、東京ガス株式会社から原子力安全・保安院関東東北産業保安監督部に対して報告がありました。

本件は、消防当局からの参加依頼を受け、同事業者が１９日（火）に行われた当該機器の検証に参加したところ、ガスに起因する火災であることが判明したため、同日、同事業者から当省に対して報告があったものです。

なお、同様の情報を本日、原子力安全・保安院のホームページに掲載しますので併せてお知らせします。

［掲載箇所］
http://www.nisa.meti.go.jp/9_citygas/gas_accident.htm

［掲載内容］

事業形態：	一般ガス事業者
ガス種：	１３Ａ
事故発生日：	平成２２年１月１日（金）午前０時１５分頃
事故発生場所：	東京都　一般集合住宅
被害状況：	人損：軽傷２名（火傷） 物損：ガスファンヒーター及びゴム管を一部焼損
事故概要：	ガスファンヒーターを使用中、当該機器から火が出たため、使用者がガス栓を締めて、機器側のゴム管（ソフトコード）を引き抜いて消火した。その際に２名が軽い火傷を負った。当該機器は、「迅速継ぎ手付ガスコード」を接続する仕様であったが、実際には接続部分の形状が異なる「ソフトコード」が接続されていたことから、接続が緩み、接続部付近からガスが漏れ、これに当該機器の火が着火したことによると思われるが、現在、詳細調査中。 なお、当該機器の内部にガス漏えいは無かった。
機器分類：	ゴム管（迅速継ぎ手無し）
（参考情報）製造者：	株式会社ダンロップホームプロダクツ
型番：	９．５㎜ソフトコード
製造時期：	２００８年８月

２．注意喚起について

○接続具は、ガス機器やガス栓にあった適切なものを使用してください。

最近、接続部の形状が異なるガス管をガス機器に接続した事による事故が多発しています。

・ガス機器やガス栓によって、接続具が異なります。

・無理な接続は、ガス漏れ、火災などの原因になります。

・形状の異なる接続具を組み合わせて使用したことによる事故が多発しています。ガス機器、接続具の取扱説明書をよく読み、形状にあったものを正しく接続しましょう。

○ガス漏れの発生を素早く認知するには、ガス漏れ警報器の設置が効果的です。なお、ガス漏れ警報器は、常に電源コンセントに接続しておいてください。

○迅速継ぎ手（ソケット式）の接続具は、確実に接続するようにしましょう。

・「カチッ」という音がするまで確実に差し込んでください。

・接続が不十分な接続具からは、ガスが漏れる可能性があります。漏れたガスにコンロの火などが着火し、火災の原因となります。

（本発表資料のお問い合わせ先）
原子力安全・保安院　ガス安全課
担当者：権藤、大谷
電　話：０３－３５０１－４０３２（直通）